

2007年3月9日

**新潟県中越地震被災地から贈られたサクラソウに見送られて卒業  
大和市立渋谷中学校**

大和市の市立中学校9校では9日、卒業式がそれぞれ行われた。大和市立渋谷中学校(大和市下和田49、奈良昭男校長・生徒数322人)では、新潟県中越地震で被害を受けた当時の新潟県越路町立塚山中学校から贈られたサクラソウが飾られ、卒業式が行われた。



渋谷中学校では、平成16(2004)年10月の新潟県中越地震で被災した塚山中学校へ生徒たちが持ち寄った救援物資を送ったところ、同年12月、お礼のメッセージとともにサクラソウの苗が届いた。塚山中学校では卒業式にサクラソウを飾ると知った生徒たちは自主的に水やりをするなどして育て、サクラソウは一昨年、初めて卒業式で飾られた。昨年も飾られ、3年目の今年も会場を彩った。

越路町は平成17(2005)年4月、長岡市と合併。塚山中学校は平成18(2006)年4月、越路中学校と統合され、55年の歴史に幕を閉じたため、現在、交流はないという。しかし、渋谷中学校では被災した当時の塚山中学校生徒たちの気持ちを忘れないようにと、サクラソウの種を取って大切に育て続け、今年も紫色と白のかれんな花を咲かせた。卒業式会場のステージに満開のサクラソウが並べられ、塚山中学校から苗が贈られた当時1年生だった卒業生111人が卒業証書を受け取った。

サクラソウが見守る中、最後に先生や父母などへの感謝の気持ちを込めて卒業生の橋本真樹君が作詞し、村田亮君が作曲したオリジナル曲「ありがとう」を卒業生全員で合唱すると、会場の父母や在校生らから大きな拍手が送られた。

奈良校長は「塚山中学校から贈られたサクラソウが今年も花を咲かせました。3代目のサクラソウです。優しさの象徴として花を咲かせ続けて来年もステージを彩るようにしたい」と話していた。